

社会司牧通信



202412

★印はカトリック関連

平和の使徒推進本部 正義と平和推進デスクでは、教会が社会へ発信しているメッセージや社会の中で活動する団体の情報をお知らせします。社会へのチャレンジの第一歩として、積極的にご参加ください。

★2025 聖年 2024年12月24日～2026年1月6日



[2025年聖年 公式聖歌 ” Pilgrims of Hope” 「希望の巡礼者」日本語版](#)

広島教区の2025 聖年開幕ミサ：12月29日(日)9:30～ カテドラル

巡礼指定教会：①世界平和記念聖堂 ②岡山教会 ③山口サビエル教会 ③米子教会 ⑤津和野教会

★[オンライン版『教会の祈り』の公開について](#) | [カトリック中央協議会](#)

2024年12月1日より新しい典礼歴年がスタートしました。日々の生活の中で、キリストとともにささげる奉仕の祈りに、親しんでいただけますように。スマホで祈れる『教会の祈り』です。



★[中野晃一さん「米大統領選 これからの世界情勢と日米関係」学習会 \(2024.11.8\)](#) | [日本カトリック正義と平和協議会](#)

政治はくらしの一部。知ってて損はないはず。識別の参考に。

★「ラウダート・シ」デスクより

今 私たちにできること！

気候変動対策 アクション

12/21 SAT キャンドル ナイト

推奨時間：早朝・夕方
実施場所：各家庭

- ★電気・テレビを消し、ろうそくを灯します。
- ★世界に思いを馳せたり、祈ったりします。
- ★写真やビデオにとり、SNSで発信します。

12/22 SUN 気候変動ミニクラス

なぜ、気候危機が起こっているのか。温暖化を抑えるために、どうしたらいいのか分かりやすく解説します。参加者同士の交流もあります。

オンラインセミナー
15:00～16:30

講師：小野綾子さん
国際環境NGO 350 Japan
気候変動基礎クラス
オンライン講師

主催：広島教区 平和の使徒推進本部
「ラウダート・シ」デスク
問合せ：E-mail：info@social-desk.net

お申し込み ▶

●12/21(土) 冬至キャンドルナイト

もう少しで、クリスマス。待降節が始まりイエス様を迎える準備の時をすごされていらっしゃることでしょう。ここを合わせて気候変動や世界の平和についても考えながら、電気を消して、キャンドルに灯をともし、こころ静かな時をすごしませんか。

●12/22(日) 15:00～16:30 気候変動ミニクラス
オンラインセミナー (ZOOM) 要申込

みなさん、お気づきですか？いま地球が大変な状況にあることを。先日、日本司教団が発表した『見よ、それはきわめてよかった』を発表し、信仰に基づきながら、エコロジカルな生活の指針を勧めています。なんとなくではなく、わたしたちの地球の回復のために、みんなでアクションをはじめましょう！
お気軽にご参加ください。



★[のとせんブログ](#)

名古屋教区 カリタスのとサポートセンター情報です。

能登半島地震発災 1 年関連行事のご案内 ①ついたちの祈り ②能登半島被災地巡礼

『The universe is a communion of subjects. 宇宙というのは、主体のコミュニオン（交わり）なのだ』

ロクスひよりやま キャプテン 中井 淳 sj
(旧下関労働教育センター イエズス会神父)



11月9日は忘れられない日となりました。以前にこの誌面でお知らせをしましたが、エコロジー活動家として世界的に有名な方で、スローライフの提唱者でもあるインド人のサティシュ・クマールさんが来日されて、下関でもお話をしてくださいました。

この企画を準備してきた下関のゆっくり小学校の用無員（と自らを呼んでいる責任者）の上野さんが声をかけてくださり、私も、最後の祈りを担当するために、当日開始の前にゆっくり小学校に行き、サティシュさんと一緒にお昼のカレーを食べました。隣に座って色々な話をすることができました。私がカトリックの司祭であることを告げると、教皇フランシスコにも会ってエコロジーの話をしたこと、回勅の『ラウダート・シ』はとても大切なメッセージを伝えてくれているということをお話してくださいました。そして、『ラウダート・シ』よりももっと前に同じメッセージを発信していた神学者がいると話してくださいました。アメリカの神学者でトマス・バリー神父さんという方でした。

その神父さんの言っていた中心的なメッセージは何だったのかと聞くと、こうおっしゃってくださいました。

「The universe is a communion of subjects. 宇宙というのは、主体のコミュニオン（交わり）なのだ」と。精神と物質を分けて二元的に世界を考えるようになった近代化の先にいる私たちにとって、世界は対象物の集まりのように見えてしまうのですが、自然界の有機的なものはすべてが主体を持っている、その交わりの中に私たちはいるのだ、ということです。私にとって、サティシュさんが教えてくれた言葉は、私に神から与えられた大切なメッセージのように感じられました。

それから仲間たちと駆けつけた会場でのサティシュさんの話と、会場の人たちとの対話の時間はとても豊かなものでした。その内容は新著『ラディカル・ラブ』に基づいたものなので、ぜひ読んでみてください。私にとって、特に心に残り、励まされたのは、「あなたがポジティブであり続ける理由は何なのですか」という問いに、「活動家はポジティブでなければやっていけない。心配は自分を無力にするだけだ」という言葉でした。簡単な言葉に見えますが、そこにはサティシュさんの絶えず希望を選び取っていく魂があるのだと思います。そして、最後に絵描きの友人と僧侶のお二人と四人で祈りの時間を導かせてもらいました。宗教の垣根を越えて、自然を癒し、私たちがこの自然を友、兄弟姉妹として見ることのできる者に変えられていくようにと願う時間でした。

私にとって、忘れられない日であり、サティシュさんとの出会いと抱擁を通して与えられた課題があります。トマス・バリー神父の思想である、この世界のコミュニオンに響いてゆく感覚、希望を選んでいく感覚を育てていきたいと思っています。それを支え、また向かってゆく先にあるのは、主のみ心なのです。



★カトリック広島教区 セクシャル・ハラスメント相談窓口 ★

広島教区子どもと女性の人権擁護デスク

受付時間 木曜日（祝日を除く）9:00～16:00 電話番号 080-9795-3676

メール：desk-hiroshima@catholic.hiroshima.jp

H・Social**H・Social**H・Social**H・Social**H・Social**H・Social

『ともに歩むあたたかさのある教会をめざそう～あたたかさの源泉に立ち返る（典礼活動）』

発行 カトリック広島教区 平和の使徒推進本部 正義と平和推進デスク

TEL：082-221-6613 FAX：082-221-6019

ホームページ <https://www.social-desk.net/> info@social-desk.net